

『三つの東海道—保永堂版・行書版・豎絵東海道—』



歌川広重
「東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪」

大判錦絵揃物の内
天保4年(1833)ころ

広重を浮世絵版画（風景画）の第一人者に押し上げた「東海道五拾三次之内（保永堂版）」と、そのおよそ10年後あっさり仕上げた「東海道五十三次之内（行書版）」、最晩年の同テーマ「五十三次名所図会（豎絵東海道）」を3期に分けて展示します。時による筆致の違いとともに「東海道といえば広重」の世界をお楽しみください。

第1期は「保永堂版」を展示します。上の図版は、「蒲原 夜之雪」。少々季節外れですが、ご覧いただきますと、「大井」ととてもよく似た仕上がりであることがお分かりいただけると思います。それをきっかけとして、去る1月13日には、東海道蒲原宿東海道町民生活館「志田亭」と、大井町の「中山道ひし屋資料館」の間で姉妹館提携の協定が結ばれ交流が始まりました。

会期：4月12日(木)～7月16日(月)

第1期 4月12日(木)～5月20日(日)
「東海道五拾三次之内(保永堂版)」

毎週月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館

※6月18日(月)～20日(水)までと会期終了後の
7月17日(火)～19日(木)まで展示替え休館します。

次号は4月15日号
発行日は4月13日(金)です

広報えな No.56

2007年(平成19年)4月1日発行

発行 恵那市役所

編集 まちづくり推進課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

今月の表紙



3月15日、中山道広重美術館で第3回となるこども版画コンクールの入賞作品154点の展示が始まり、18日には、表彰式が開催され、約30人に表彰状が贈られました。コンクールには、市内21の小中学校、幼稚園、保育園から2468点の応募がありました。作品には、それぞれ講評がつけられ、展示されています。

作品全体の講評では、年々レベルが向上しており、自分が見て感じたことが良く表現され、材料の選び方、彫り方に工夫がされていることなどが挙げられました。